

令和 6 年度

石巻市福祉学習推進研修会

報 告



社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会

令和6年度

石巻市福祉学習推進研修会

を開催しました

日 時：7月31日（水）

13時30分～15時30分

場 所：石巻市ささえあいセンター

3階 ささえあいホール

参加者：市内小中学校教職員、PTA 役員、

石巻市教育委員会、社協職員

計34名出席

ご出席いただいたみなさま、お忙しい中ありがとうございました。

第一部 石巻市社協の取組について

「福祉の考え方や伝え方を知りたい」といった昨年度アンケートの声から、石巻市社協の福祉学習の取組についてご紹介しました。福祉の講話の一部を実演し、授業で子どもたちに伝えている『ふくしとは』について共有させていただきました。

また、本会が推進する地域福祉には『福祉教育・防災教育・協働教育』も含まれることをお伝えしたところ、参加者からは「福祉という意味をより知ることができた」「新たに知ることや学びがあった」といった声をいただきました。



第二部 飯野川小学校 事例発表

『飯野川小学校における福祉学習・協働学習の取組』というテーマで、石巻市立飯野川小学校鈴木勘太先生に事例を発表いただきました。

発表の内容は以下のとおりです。



社会福祉協議会との協働

飯野川小学校では、『やさしい心で』をテーマに第3学年の総合的な学習の時間において福祉学習を行っている。体験活動を通して、福祉について児童が主体的に考えるきっかけになってほしいと考えているが、体験活動を学校だけで実施するのは難しい。そこで、本校の福祉教育の目標と重なるところが多くあった石巻市社協と協働し実施することにした。

取組の実際

社協で発行している福祉学習ガイドブックを参考に子どもたちのための福祉学習の在り方を検討し、総合的な学習の時間の年間指導計画を作成した。

昨年度は年間を通して『目が不自由ってどういうこと？』『耳が不自由ってどういうこと？』『体が不自由ってどういうこと？』の3つのテーマをもとに様々な体験学習を行った。なかでも高齢者の方と一緒にいったグラウンドゴルフ大会は地域の方と交流を深める機会（協働学習）にもなり、児童の学びも多くあったと感じている。

また、一年間の学習のまとめとして誰もが見や

すい新聞の作成も行った。

これらの活動は今年度も新たな3年生に引き継がれ、ブラッシュアップをしながら、昨年と同様の3つのテーマで年間計画を作成している。

7月から体験活動を始めてきたが、実施の際には体験ごとに社協と綿密な打合せを行っており、この打合せが協働して福祉学習を実施する上で最も大事だと考えている。点字体験と白杖体験を終えた児童からは、振り返りシートいっぱいに気づきや感想があげられ、「わたしたちの暮らしの身近な所に点字があるのが驚いた」「目が見えない体験をすることで、大変さが分かった」といった子どもたちの声からも、実際に体験したからこそ得られた学びがあると感じている。

【体験学習 年間計画】

『目が不自由ってどういうこと？』

－白杖体験、点字体験、盲導犬について知ろう

『耳が不自由ってどういうこと？』

－手話体験

『体が不自由ってどういうこと？』

－車いす体験、グラウンドゴルフ大会

共に支え合う関係づくり

福祉の学びを共に進める上で、本校の年間指導計画だけでなく、児童の実態やビジョンを共有することが、児童が見える学びを展開するためには大切だと感じている。

今後も社協と連携し、学びの深い福祉学習の在り方を考え続けていきたい。



第三部 グループワーク

社協職員も入り、飯野川小学校の事例を聞いた感想や各学校での福祉学習の取組について、グループワークを行いました。

和やかな雰囲気の中、各グループでは「体験すると見えてくる学びがある」「中学校でも福祉の学びをしていきたい」「学校をもっと地域の身近な存在にしたい」など様々な声があがり、悩みや工夫を語り合う様子も見られました。

取組内容だけでなく、『福祉学習』への想いについても共有する時間となり、より良い福祉学習の実現に向けた交流の場となりました。



最後に…

今回の研修会を通して、学校・地域・社協が協力し合い、ともに福祉学習を実施していくことの大切さを改めて実感する事ができました。

このような研修会での交流の場が、さまざまな立場の方と繋がるきっかけとなれば幸いです。

お気軽に社協までご相談ください。

社会福祉法人 石巻市社会福祉協議会
地域福祉課

〒986-0825 石巻市穀町15番2号

TEL：0225-96-5290